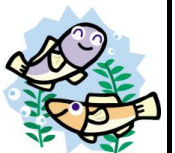


調査場所名		千曲川		年月日(時刻)		26・7・29 (10:00~12:00)			
水質		指標生物	数	水質		指標生物	数		
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 カワゲラ類	1	きたない水	水質階級Ⅲ	1 ミズカマキリ	25		
		2 ヒラタカゲロウ類	3			2 ミズムシ	1		
		3 ナガレトビゲラ類				3 タニシ類	1		
		4 ヤマトビゲラ類	1			4 シマイシビル			
		5 アミカ類	2			5 ニホンドロソコエビ	1		
		6 ヨコエビ類	6			6 イソコツブムシ類	1		
		7 ヘビトンボ	1			とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 ユスリカ類	
		8 ブユ類	1					2 チョウバエ類	1
		9 サワガニ	1					3 アメリカザリガニ	1
		10 ナミウズムシ	4					4 エラミミズ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 コガタシマトビゲラ類	1			5 サカマキガイ			
		2 オオシマトビゲラ	1	その他見つけた生き物 フナ、シマドジョウ、ツチガエル、ホトケドジョウ、アカザ、オイカワ、ウグイ ほか					
		3 ヒラタドROMシ	1						
		4 ゲンジボタル	1						
		5 コオニヤンマ	1						
		6 カワニナ類	1						
		7 ヤマトシジミ	1						
		8 イシマキガイ							

川には魚だけじゃなくいろいろな生きものがいることがわかったね！



先生からのコメント

川の生きもの^{カンサツ カイ オオゼイ}の観察会へ大勢の皆さんにお集まりいただきありがとうございました。突然の雨に見舞われましたが、怪我^{ケガ}や事故もなくなによりでした。

皆さんが記録してくれた結果をまとめました。どんな生きものが採れたか確認しながら、まとめを見てみましょう。

きれいな水にすむ1～10の生きものうち、ナガレトビゲラ類以外すべてが確認されました。またヨコエビ類6、ナミウズムシ4と、数も多くありました。今回記録としてはカウントされなかったナガレトビゲラは私が確認しましたので、きれいな水の指標生物はすべて確認できたことになります。

一方、ややきれいな水、きたない水の指標生物も確認されています。とくにミズカマキリの数が25ありおどろきました。ミズカマキリは比較的大きい昆虫で存在感があるので、観察してくれたみなさんの印象に強く残り、カウント数に影響があったのかもしれませんが。

ところで、とてもきたない水の指標生物としてチョウバエ類、アメリカザリガニが確認されました。観察場所の環境が悪くなりつつあるのかどうか見守る必要があるでしょう。また今回観察した場所は、千曲川の本流から分かれた小川であり、その先は川原の土の中に消えていくという特殊な環境でもありました。この流れの下流域から生きものが入ってくることはむずかしいと思われます。もしこの観察場所の流れが本流に入っていくとすると水の速さももっと速くなり、また下流部から魚類や水生昆虫などが入ってくることで、かなり指標生物にも影響を与えたと思われます。

さて、今回の観察では、ゲンジボタル、ヤマトシジミも見つかりましたが、これらの生きものは佐久市内の千曲川の周りではなかなか目にする機会も多くないと思われますので、貴重なデータになるかもしれません。

ところで、今回は、その他見つけた生き物としてフナ、シマドジョウ、ツチガエル、ホトケドジョウ、アカザ、オイカワ、ウグイなどが確認されました。特にシマドジョウ、ホトケドジョウ、アカザはとてもめずらしい清流の魚類でもあるのでこのような生きものがすめる自然環境が佐久市内の千曲川にもあるということは注目すべきだと思います。

